

審査員プロフィール

◆ デイル ハンソン (Dale Hanson) ◆ 博士

(オーストラリア)

- インターナショナルセーフコミュニティ認証センター長
- 世界セーフコミュニティネットワーク 理事長
- キーーンズランド ヘルス (オーストラリア キーーンズランド州)
北キーーンズランドへき地医療トレーニング ディレクター
- ジェームスクック大学 公衆衛生学部
熱帯医学・リハビリテーション科学 上級講師 (非常勤)



医療及び外科（学士）、公衆衛生及び熱帯医療、臨床教育（修士）における教育と産婦人科、総合診療、重症外傷早期診療、救急治療、小児救命などにおける研究などをバックグラウンドに、外傷予防及び安全向上に関心をもち、マッカイのセーフコミュニティ活動及びオーストラリアセーフコミュニティ財団の発起人の一人としてセーフコミュニティにかかわってきた。

現在は、インターナショナルセーフコミュニティ認証センター長として多くのコミュニティの認証審査員を務めている。

◆ パク ナムス (朴南秀) ◆ 博士

(韓国)

- 韓国 ヒュプスン大学 衛生管理学部 准教授
- 韓国 ヒュプスン大学 地域健康安全センター 代表 (2014～)
- 韓国 亜州大学 医学部 地域安全向上センター客員教授 (2010～)



梨花女子大学 衛生教育学部を卒業後、延世大学大学院において博士号（衛生行政）を取得。亜州（アジョー）大学医学部外傷予防地域安全向上センター（セーフコミュニティ支援・認証センター）でセーフコミュニティに出会い、以後、積極的に国内外のセーフコミュニティの支援にかかわる。現在は、協成（ヒュプスン）大学で教鞭をとるほか、地域健康安全センターの代表を務めている。

外傷サーベイランス及び安全向上に関する政策評価を研究課題としており、国レベルの研究等にも委員としてかかわっている。

セーフコミュニティ及びセーフスクールに関しては、亜州大学外傷予防地域安全向上センターに在籍していたときからセーフコミュニティ支援・認証センターのディレクターとしてコミュニティの支援を行っている。国内のSC・ISS活動支援を行うとともに認証審査員として、国外のコミュニティの認証審査も担当してきた。

特に、ISSについては、韓国で初めてISS認証を受けたジュンギャ小学校について、その活動の推進に大きく貢献した。

これらの実績を認められ、現在では国（教育省や健康福祉省）や京義道、ソウル市ソンプ区などにおいて、安全対策・学校安全・安全教育などの専門アドバイザーも務めている。